

# 森林整備Ⅱ

現地実習（安全管理・間伐）

日時：平成24年10月28日（日） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

## 概況

---

### 第1時限 講義

#### ○人工林の整備

- ・スギ・ヒノキを中心とした人工林の施業について講義
- ・人工林の施業には、造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐、主伐がある。
- ・間伐には、下層間伐（普通間伐）の他に、上層間伐、優勢木間伐、自由間伐、機械的間伐という方法がある。
- ・下層間伐（普通間伐）は優勢木を残し、劣勢木などから伐採する方法である。
- ・間伐の目的は、林業的には通直で完満な丸太を生産することであり、環境面では光条件の改善に繋がる。
- ・具体的に間伐を実施する一つの手法として、林分密度管理図を用いる方法がある。密度管理図には、最多密度曲線、自然枯死線、等平均樹高線、収量比数曲線、等平均直径線がある。こうした曲線から将来の林分材積を推定し、目的にあった材を得るための間伐を実施するというものである。
- ・今回は、実際に20×10mの標準地を設定し、毎木調査を行い、伐採木を選木し、間伐を行う旨の説明がなされた。

### 第2時限 雨天のため現地実習を安全管理に関する講義にプログラムを変更

#### ○林業労働災害と森林整備活動における安全

- ・林業は他の産業に比べて死傷災害の発生率が高い。特に、伐採・集材時に災害が発生している。
- ・作業に当たってはヘルメット、長そで、長ズボン、手袋など作業のしやすい服装が求められる。
- ・また、作業時にはスズメバチ、マムシや毛虫などの他、ウルシ類によるかぶれにも注意が必要である。
- ・安全作業には、道具の基本的な使い方、安全な作業のあり方を理解するだけでなく、実践する必要がある旨の講義がなされた。